

考動・躍動・感動

担任の先生の想い②～道徳の時間から～

【保護者の皆さんへ】

先週の金曜日に各クラスで実践した道徳の時間の内容を、2回にわたって報告させていただきました。各担任が、今のクラスの状況・生徒の実情に合わせて考えました。私も各クラスを回って授業の様子を見ましたが、先生も生徒もとてもいい表情をしながら授業を進めていたのが印象的でした。

前号にも書きましたが、道徳の時間だけが道徳心を高める・道徳的心情を育てる時間ではありませんし、心を育てる中でいかに実践力につなげていくかが大切になってきます。これからも生徒と信頼関係を築きながら、一教員として一大人として、子どもたちと向き合っていきたいと思えます。実践から少し日にちが経ってしまいましたが、一度、お子さんと授業の話などをしていただけるとありがたいです。また、何かご意見・ご感想等ありましたら、ご連絡ください。よろしくお願いいたします。

A組

主題名「ある2人の女の子の話」

ねらい：

手術痕によっていじめを受けた女の子、言葉遣いが違うということはいじめを受けた女の子の2つの話。この2人女の子の人生が周りの級友の支えがあるかないかによって大きく違っていくことを知り、いじめの残酷さやいじめが起こりそうなときに周りの支えがいかに大切に気づいてほしいと思い、授業を行いました。

(生徒の感想)

いじめは一人一人が不安のある子に優しい気持ち・心をもてばなくせると思った。いじめはある一人が、いじめようとするば「私たちも・・・」っていうパターンがほとんどなのかなと思った。いじめをなくすには、一人一人の心が大切だと思う。(若杉春南さん)

誰かが、いじめられている人に優しい声をかけていじ

めから救ってあげなければならない。一緒にいじめるのか、それともいじめから助けてあげるのかは、考えなくてはならない。(児山丈さん)



E組

主題名「法律を守るとは？」

ねらい：

「違反摘発を受けて、父の臨終に会えなかった」という方の投書記事を通して、その方の行動は、心情的には理解できるものであるが、その新聞記事の続きを読むことで、法律の意義や自分と周りの人の権利と義務について考え、法律やきまりは各々の生活や権利を守るためにあることを理解し、これを遵守し、よりよい社会にしようとする意欲を身につけさせたいと思い、授業をしました。

(生徒の感想)：

法律は罰するためではなくて、関係のない人が巻き込まれないためにあることが分かった。どんな状態があっても言い訳にしかならないので、法律はしっかり守るようになりたい。(田中泉美さん)

罰するために法律があるのではなく、次の不幸をなくすためにあることがよく分かった。周りの人・関係ない人にも不幸を生まないようにする。

(山内康生さん)



C組

主題名「いいとこ四面鏡」

ねらい：

グループ（5～6人）の仲間が、その中のメンバー一人一人の良い所・素敵な所・魅力的な所を見つけます。それを伝え合うことを通じて、今までとは違う自分のイメージに気づいたり、もう一度自分の良さを見直したりするのがねらいです。

（生徒の感想）：

〇をつけてもらった所をもっと良くしていけたらいいとおもいました。この授業でいろいろなこと（意外なこと・初めて気づいたことなど）が分かりました。

（若杉優希さん）

友だちのいい所とかを伝え合うのはお互いのいい所を教え合えるし、いいと思った。これからまた友だちのいい所を言ってみたいと思いました。（白木梨花）



B組

主題名「本当の姿をし知ろう」

ねらい：

見た目で判断せず、その人の中身を見るようにして、いい所をたくさん見つけてほしい。

（生徒の感想）

人は見た目や表面的なものを見ただけで判断してはいけないことが分かりました。少し中身を見ただけで印象が変わってくるのが分かりました。（大澤柊生さん）

見た目だけで判断し、中身を知らずにその人に対応することは、その人に失礼なことだと思います。友だちの本当の姿を見つけられるようになりたい。（北河さくらさん）



G組

主題名「わたしのいもうと」

ねらい：

「わたしのいもうと」は作者の元に届いた手紙をもとに作られた実話。いじめられた人や、その人の家族の想いに触れ、いじめが奪うものの大きさについて考えてほしい。ほんのちょっとした言葉や行動が、だれかの大切な人の楽しみ・将来・夢・命を奪ってしまうかもしれないということを考え、これからの行動に生かしてほしいと思う。

（生徒の感想）

いじめをした方は、軽い気持ちで何年か経ったら、もうやったことなんて忘れていても、やられた方はずっと学校に行けなかったり、やりたいこともできなかったりして、一生悩み続けると分かったので、絶対にいじめはしてはいけないと思う。いじめた方も、一生心に傷が残ると思うので、いじめは、いろいろな人の心を傷つけるいやなものだと思う。世界がいじめがない、仲の良いものになればいいと思う。（伊達ひなた）

自分の家族などの大切な人がだれかの手によってこわされてしまうのは、すごくやさしいし悲しいと思いました。いじめは誰かの人生を壊してしまうこともあるので、絶対にだめだと思いました。（林朋佳さん）



F組

主題名「『一滴の涙』

ある夏の出来事を読んで」

～第32回全国中学生人権作文コンテストより～
ねらい

実際に中学生が夏に経験した話。もう中学生は善悪の判断をもっていなければならない。自分が何か犯したとき、それは自分だけの問題ではないこと、どれだけ家族や周りが心配し、影響を与えてしまうのかを考えてほしい。家族に感謝し、他の人の命や心も大切にしながら過ごして行ってほしいと思う。

（生徒感想）

こんな事が本当にあるんだと思いました。人はみんな被害者も加害者もその家族も人権をもっていて、それは平等にあるべきだと思いました。（神山和奏さん）

人はみんな平等なので、人殺し！などのピラはひどいと思いました。普段の生活でも嫌がらせとかあれば、なくしたいと思います。（山田早耶さん）

